



みんなで創ろう「共育」の輪と和 ～他者のヘルプに関心を～

【学年だよりに込めた決意】

新入生の皆、入学おめでとう。新しい年度の始まりは、大人も子どもも胸が高鳴り、不安と希望が入り交じる時期だと思う。そして、「今年は〇〇しよう」等、誰しもが新たな気持ちを抱いていると思う。とても素晴らしいことだ。ましてや、中学校生活のスタートとなればなおさらそうだと思う。

さて、中学校生活スタートにあたって皆に問いかけていたいことがある。それは「人は変えられるだろうか?」ということだ。私自身は、「変えられる」と思っている。その通りになるかどうかの答えは、あなた自身が探し、導き出すしかない。皆は、この問いかけに対して、今、どう思う?

学年だよりの「道標」は、「どうひょう」と読む。いわゆる「道しるべ」のことだ。皆が自分を変えていくために、「こういう道もあるよ」、「こういう考え方もあるんじゃない」、「この考え方は素敵だね」、「これはちょっと道を外しているんじゃない」等、指さし案内をしていきたいという思いを込めている。もちろん、先生方は指さし案内をしながら、一緒に歩くつもりだ。

【学年目標に込めた思い】

冒頭の言葉は、学年目標だ。どんな思いがあるのか記しておきたい。

これまでの自分を変えていくということは、結構大変なことであり、時間や期間を要することだ。また、課題や困難な状況に対して、一人

で立ち向かって行くことは辛いことだ。これらのことに向き合い、乗り越えていくために大切なことは、支え（励まし・寄り添い・共に動く）になる他者や集団の存在だ。

だから皆には、自分を変えていくために様々なことに向き合ってほしいし、向き合っている他者のヘルプ（困り感・傷つき・悲しみ等）に気づいて手を差し伸べたり、共に伴走したりできる、和やかで優しく芯のある人になってほしいという思いがある。そういう人が集まっていくことで、そこには、共に育ち合う輪（平和な場所）ができる。肝に銘じてほしいことは、そうした場所は、与えられる物ではなく、皆で創り上げていく物だということだ。他者を助け、自分を磨く一年にしよう。

【一学年教職員を代表して保護者の皆様へ】

お子様のご入学おめでとうございます。中学校生活3年間は、あっという間です。しかし、濃密な3年間でもあります。「揺れつ戻りつ思春期の峠（高垣忠一郎 著 新日本出版社）」という本の中に、「思春期は『第2の誕生』」と書かれています。その意味は、肉体的だけでなく精神的にも激動の時期であり、子どもから大人へと変容していく中で、新たな自分を産み出す苦しみを伴う自分との出会いだからとあります。

子どもたちは、これからの3年間で大きな困難等に出くわしながら、小学生までのお子様とは違った一面を見せることでしょう。そうした中で、悩んだり、不安になったり、反抗したり、逆に自信をつけたり、自立に向けての産みの苦しみを味わうことでしょう。これは、私達大人も通ってきた道でもあります。こんな時は、学校と保護者の皆様とで子育ての共同をしながら、子どもたちが共に育ち合う輪を創っていただければと思います。どうぞよろしくお願い致します。



4月の行事予定

日	曜	学校・学年予定等	授業予定	給食
12	水	副教材販売日 給食開始 入会式	学・学・学・学・入会式	○
13	木	市標準学力検査	5校時まで検査・学	○
14	金	朝モジュール開始 発育測定 二者面談①	学・学・学・学	○
15	土			
16	日			
17	月	職員会議 部活なし	学・学・学・学・学	○
18	火	全国学力・学習状況調査 専門委員会 部活なし	特別時間割で5時間	○
19	水	前期時間割開始	1・2・3・6・4・5	○
20	木	3年修学旅行①	1・2・3・4・道	○
21	金	3年修学旅行② 市専門部総会	1・2・3・4・5	○
22	土	3年修学旅行③		
23	日			
24	月	二者面談② 3年振休	1・2・3・4・5	○
25	火	学年部会 部活なし 木曜の授業	木の1・2・3・4・道	○
26	水	フリー参観・保護者会 尿検査一次	1・2・3・4・PTA	○
27	木	火曜の授業	火の1・2・3・4・5・6	○
28	金	部活動集会(放課後または別日に各部で) ※この日から1年生正式入部	1・2・3・4・5・総	○
29	土			
30	日			

◆1学年の担当教職員～

主任：CT（保体） 副主任・6組：TY（理科） 1組 NN（数学）
 2組：KY（国語） 3組：HY（保体） 4組：KH（社会）
 5組：RN（英語） 副担任：UY（美術）・HY（家庭）・TS（社会）
 アイリス担任：AY

◆教科担当者

	1組	2組	3組	4組	5組	6組
国語						
数学						
社会						
理科						
英語						
音楽						
美術						
保体						
技術						
家庭						

